

【別表1】 第3期知床半島エゾシカ管理計画のモニタリング項目

評価項目	実施主体	モニタリング項目	目的・内容	調査地	計画期間						
					2017	2018	2019	2020	2021		
植生	詳細調査	林野庁	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査	エゾシカ捕獲圧の強度や植生保護柵の配置・規模の再検討のため、主要越冬地等に設定した各種植生調査プロット及び防鹿柵内外の植生調査を行い、特定植物種とエゾシカ増減との対応関係や植生の回復状況などを把握する。林野庁3か所(知床岬・幌別・岩尾別)、環境省3か所(全て知床岬)。林野庁の知床岬は隔年、岩尾別は5年に1回の調査間隔とする。	知床岬・幌別・岩尾別	知床岬 幌別・岩尾別	—	知床岬 幌別	—	知床岬 幌別	
		環境省		知床岬	○	○	○	○	○		
		環境省		密度操作実験対象地域のエゾシカ採食圧調査	エゾシカ許容密度(各越冬地での捕獲目標数)の検討のため、密度操作実験を行う越冬地にイネ科草本、ササの採食圧調査プロットを設定し、エゾシカの密度変化に対する植生の変化を把握する。	知床岬 ルサー相泊 幌別—岩尾別	○	○	○	○	○
	広域調査	林野庁	広域植生調査	半島全体でのシカ採食圧の把握のため、地域別・標高帯別・立地別のシカ採食圧状況(木本・草本)を広域的に把握する。固定調査区を設定し、概ね5年に1回モニタリング調査を行う。	森林植生	○	○	○	○	○	
		環境省			高山・亜高山植生	遠音別	連山	知床岳 羅臼湖			
		環境省			海岸植生				海岸 (斜里側)	海岸 (羅臼側)	
環境省	硫黄山のシレットコスミレの定期的な生息・分布状況調査	硫黄山の固定方形区にて、シレットコスミレの分布状況及び採食の状況を確認する。	硫黄山周辺(シレットコスミレ)	○(当面は毎年モニタリング)							
エゾシカ個体数・個体数指数	詳細調査	環境省	エゾシカ主要越冬地におけるカウント調査	捕獲実施方法の検討(実施時期、捕獲数等決定)および捕獲事業の成果検証のため、主要越冬地においてライトセンサスや航空機からのカウント等を行い、個体数の増減傾向及び群れ構成等を把握する。	知床岬(航空カウント)	○	○	○	○	○	
		斜里町 羅臼町 知床財団		幌別—岩尾別・ルサー相泊・真鯉	○	○	○	○	○		
		知床財団・林野庁		エゾシカ間引き個体、自然死亡個体などの体重・妊娠率など個体群の質の把握に関する調査及びデータの蓄積	捕獲事業の成果検証のため、主要越冬地における捕獲個体及び自然死亡個体の齢・性別・頭数を把握する。また、間引き個体の体重・妊娠率等を把握する。	知床岬(自然死亡の把握困難)	△	△	△	△	△
		幌別—岩尾別、隣接地域		○	○	○	○	○			
	広域的調査	環境省	エゾシカ越冬群の広域航空カウント	植生保護柵の配置や個体数調整の実施等の検討のため、ヘリセンサスによる越冬群の分布・規模等を把握(半島規模の生息数推定も合わせて実施)する。次回は2020年度の実施を予定。	全域	遺産地域内	遺産地域内	遺産地域内	○	遺産地域内	
		環境省	越冬地エゾシカ実数調査	捕獲数の検討のため、越冬地全体、あるいは一部区域のシカを追い出し、実数を把握する。		○					
環境省		エゾシカ季節移動調査	個体群管理に向けた地区区分設定のため、電波発信器等を用いて各越冬群の季節移動状況の詳細情報を把握する。	全域	ルジャのみ	ルジャのみ					
土壌浸食	詳細	環境省	土壌浸食状況調査	土壌浸食の実態及び原因を把握する。5年に1回とし、次回は2017年度に実施予定。	知床岬	○					
	広域	環境省 林野庁	土壌浸食状況広域調査	広域的な土壌浸食の発生場所、規模等を把握する。	全域	広域植生調査に併せて実施					
生態系への影響	詳細調査	環境省	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に昆虫の生息状況によって把握する。(次回実施は2018年前後を予定)	知床岬・幌別・羅臼		○				
		環境省	陸生鳥類生息状況調査	エゾシカによる陸上生態系への影響を主に鳥類の生息状況によって把握する。(次回実施は2018年前後を予定)	知床岬		○				

【別表2】 第3期知床半島エゾシカ管理計画 計画期間中のスケジュール

		第2期	第3期					第4期	
		2016 (H28) 年度	2017 (H29) 年度	2018 (H30) 年度	2019 (H31) 年度	2020 (H32) 年度	2021 (H33) 年度	2022 (H34) 年度	
特定管理地区 (知床岬)		○個体数調整 仕切り柵を用いた銃猟による個体数調整を実施する。	○個体数調整 仕切り柵を用いた銃猟による個体数調整を実施する。 ○モニタリング エゾシカ越冬数の把握及び植生調査を実施する。					○結果評価 今後の方針を確認 ○第4期に向けた管理方針の取りまとめ	○個体数調整
エゾシカA地区	高山帯	○モニタリング	○モニタリング 高山帯の希少種（シレットコスミレ等）の採食状況等について調査を実施する。					○第4期に向けた管理方針の取りまとめ	
	ルシヤ	○モニタリング 季節移動調査を実施。	○モニタリング エゾシカ季節移動及び越冬数の把握、植生調査等を実施する。					○管理方針の再検討 エゾシカA地区内では重要な越冬地の一つであるため、今後の管理方針を検討する。	○個体数調整開始？
エゾシカB地区	ルサー相泊	○個体数調整	○個体数調整 ルサー相泊地区においては、道路の維持管理状況と捕獲効率との関係に留意。船上からの捕獲等、新手法を検討。						○個体数調整
	幌別-岩尾別	○個体数調整	○モニタリング エゾシカ越冬数の把握及び植生調査を実施する。					○結果評価 今後の方針を決定。 ○第4期に向けた管理方針の取りまとめ	○個体数調整
隣接地域		○個体数調整（北海道森林管理局等）	○個体数調整（北海道森林管理局等） コミュニティベースの個体数調整の活用等、持続可能な管理体制の構築のための方策を検討する。 ○モニタリング					○第4期に向けた管理方針の取りまとめ	
計画の見直し		○第3期管理計画策定 ○モニタリング計画策定（科学委員会）	○植生指標を活用したモニタリング結果の評価 第4期管理計画策定に向けて、管理計画の基本方針について、現行方針を継続するか、改変するか検討を進める（特にエゾシカA地区について）。					○第4期管理計画素案作成 ○第4期管理計画策定	
ユネスコ/IUCN現地調査報告書の勧告への対応		○指標開発 植生指標を追加検討する。	○植生指標開発 知床岬地区植生指標の策定	岬地区以外の植生指標の策定	ユネスコへ回答？				